



学校だより

上小川



上小川小HP

大子町立上小川小学校

久慈郡大子町頃藤5017-2

TEL 74-0029、FAX 74-3655

文責 校長 長山 芳子

<https://www.daigo.ed.jp/page/dir000003.html>

よく学び、よく遊び、よく働き ～一つの家族のように～



桜が満開を迎え、春爛漫の中、年度のスタートから1週間が経ちました。上小川っ子たちは元気に活動しています。この1週間、子どもたちの活力に驚きました。

- ・校歌を歌う声が大きいです！（来賓の皆さんも驚いていました）
- ・体育館に飾ったパンジーの花に圧倒されました。
- ・片付けで100近いプランターを4～6年生16名＋先生で運ぶ！（誰一人休む間もなく、力を合わせて働く）
- ・休み時間になるといろいろな学年の子どもたちや先生がサッカーをやり、一つのボールを追ってゲームを楽しんでいる！（大きい子も小さい子も、男子も女子も）
- ・サッカー以外にも虫探し、ブランコなどの遊具で思い思いに楽しく遊んでいること。

「あいさつができる」「歌が歌える」「掃除ができる」これで子どもたちの健康度が分かれると聞いたことがあります。新年度、希望に満ちた子どもたちがまぶしい一週間でした。年度初め、保護者の皆様とともに子どもたちの成長や自立に向けた活動を支援していきます。15日（月）からは、家庭確認、19日（金）授業参観と保護者懇談会があります。児童35名、教職員17名、保護者、地域が一つの家族のように、互いに支え合い、社会の宝である児童の健やかな成長というベクトルを合わせて取り組んでいきます。宜しくお願いいたします。



子どもと過ごす時間「質」を大切に

先日、「幼少期に親が子どもに対してどのように時間を使ったか、そして、その結果子どもがどうなったか」という記事を読みました。（3月5日朝日新聞 慶應義塾大学 中室まき子教授）

その記事によると、「時間投資」つまり、親が自分の時間を子どもに対してどう使ったという「生活時間調査」のデータを使い、子どもの認知能力（IQなどの学力）や非認知能力（忍耐力や社会性といった社会的スキル）にどう影響したか調べると、次のようなことが分かりました。

- ◆「勉強」に投資する時間（本の読み聞かせ・宿題の手伝い）・「体験」に投資する時間（お絵かきや屋外での運動）ともに認知能力の向上をもたらした。
- ◆子どもは大きくなれば自分で時間の使い方を決める。調査によると、子ども単独で使い方を決めるのは10歳から14歳の間に2倍に増加する。つまり、親と共に意思決定する小学校の時期は、親の関わりが大切であると言える。
- ◆子どもの成長のために良い関わりとは？

- ・親子の間で適度な会話や交流がある。
- ・会話をしながら食事をするのは質の高い交流だが、ただテレビを一緒に見ているだけでは、質が高いとは言えない。
- ・子どもを中心とした活動になっている。

この結果と分析から、私たち大人は、親の時間投資や体験の有無が子どもの能力に関わりがあることを知っておく必要があります。もちろん私たち学校職員も、指示を少なく、体験や活動の中で、子ども自身が考える「子どもを主語」にした関わりを心がけていきます。



年度初め授業参観

4月19日（金）皆様のお越しを待ちしています。

13:30 授業参観（各教室）

1年国語科 2・3年学級活動 4・5年学級活動 6年算数科

14:20 学年懇談会（各教室）

15:00 職員紹介（音楽室）

15:30 児童の一斉下校

15:30～ PTA役員会

※児童の昼食は通常通り給食です。

